

目次



- [操作方法](#)
 - [1.保護設定](#)

文書回覧申請時の「保護設定」の初期値を設定します。

操作方法

管理者画面

1 保護設定

1.メニューバーより[全体設定]-[環境設定]をクリックします。



2.[保護設定] タブをクリックし、設定したい項目のチェックボックスにチェックを入れ
[更新] ボタンをクリックします。

制限設定

保護設定

パスワードポリシー

IPアドレス設定

保護設定

以下で指定した設定内容を、申請者が申請時に変更することを許可する

☒ 許可する

・閲覧途中の宛先、閲覧順の変更

☒ 許可する

☐ 許可しない

・閲覧途中でのテキスト追加

☒ 許可する

☐ 許可しない

・閲覧時の捺印

☒ 必須にする

☐ 必須にしない

・閲覧時のメールに企業名を表示する

☒ 表示する

☐ 表示しない

・申請時にアクセスコードで文書を保護（社内用）

☒ 保護する

☐ 保護しない

・申請時にアクセスコードで文書を保護（社外用）

☒ 保護する

☐ 保護しない

更新

【表示項目】

以下で指定した設定内容を、申請者が申請時に変更することを許可する
許可にする場合、申請者が必要に応じて「閲覧先設定画面」の保護設定を選択できます。
チェックを外した場合、「閲覧先設定画面」の保護設定は選択された状態でロックされます。申請者は保護設定を変更できません。

閲覧途中の宛先、閲覧順の変更

許可する場合、「閲覧先設定画面」の保護設定「宛先、閲覧順の変更」が選択されている状態で表示されます。

閲覧途中でのテキスト追加

許可する場合、「閲覧先設定画面」の保護設定「テキスト追加を許可する」が選択されている状態で表示されます。

「制限設定」でテキスト追加を許可していない場合、表示されません。

閲覧時の捺印

必須にする場合、承認者による閲覧文書への1回以上の捺印が必須となります。

閲覧時のメールに企業名を表示する

表示する場合、「閲覧先設定画面」の保護設定「閲覧時のメールに企業名を表示する」が選択されている状態で表示されます。

申請時にアクセスコードで文書を保護（社内用）

社内ユーザー(Shachihata Cloudのアカウントがあるユーザー)へ送信する際のアクセスコードの設定です。

保護する場合、「閲覧先設定画面」の保護設定「アクセスコードで保護する（社内用）」が選択されている状態で表示されます。

アクセスコードの内容は、申請者が変更できます。

申請時にアクセスコードで文書を保護（社外用）

社外ユーザー(Shachihata Cloudのアカウントが無いユーザー)へ送信する際のアクセスコードの設定です。

保護する場合、「閲覧先設定画面」の保護設定「アクセスコードで保護する（社外用）」が選択されている状態で表示されます。

アクセスコードの内容は、申請者が変更できます。

保護設定

☒ 閲覧途中の宛先、閲覧順の変更を許可する

☒ 閲覧途中でのテキスト追加を許可する

☒ 閲覧時の捺印を必須とする

☒ 閲覧時のメールに企業名を表示する

☒ 申請時にアクセスコードで文書を保護する（社内用）

gtgy1v



☒ 申請時にアクセスコードで文書を保護する（社外用）

p7ur3q



再通知設定

